



己への挑戦 ～ 更なる高みへ～

総務省総合通信基盤局電波部電波政策課課長補佐
 併任 東京オリンピック・パラリンピック電波利用
 支援室室長補佐
 併任 移动通信課新世代移动通信システム推進室

江原 真一郎 EBARA Shinichiro

平成 20年 4月 総務省採用
 同 総合通信基盤局電波部移动通信課
 新世代移动通信システム推進室
 平成 22年 7月 同 情報流通行政局放送技術課企画係長
 平成 24年 8月 同 総合通信基盤局総務課総括係長
 平成 26年 8月 消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室課長補佐
 平成 28年 6月 在トルコ日本国大使館二等書記官
 平成 30年 4月 同 一等書記官
 令和元年 7月 現職

1度きりの人生。今後多くの時間を費やすことになる仕事。

皆さんはどんな仕事をしたいですか。私は、やりがいのある仕事をしながら、自分自身が成長できる環境で仕事をしたいと考えています。これらを実現できる職場の1つが「総務省」です。

働くフィールドは無限大

「情報通信」に関係するところが我々の働くフィールドになります。今や情報通信を使わないサービスなど見つける方が難しいでしょう。

入省してまだ10数年ですが、携帯電話、自動運転、放送、消防、大使館と様々な業務・部署で貴重な経験をすることが出来ました。一見無関係に見える業務でも、これら全ては「情報通信」という共通点で繋がっています。

これまでの業務等

放送の部署では、アフリカ(ボツワナ、アンゴラ等)へ何度も出張し、ワンセグデモ等を通じた地デジ日本方式の売り込み。消防の部署では、全国の消防本部から集まった屈強な男達とともに消防救急無線のデジタル化の完遂に奔走。トルコにある日本大使館で勤務していた頃は、日本から著名なドラマ制作チームをお呼びし、トルコの有名女優等とコンテンツ制作に関するトークショーを開催するなど、日トルコの経済関係の結びつき強化に尽力。振り返って見ると、情報通信関係を中心に様々な案件に携わることが出来ました。

そして今は、自動運転社会の実現に必要な通信に関する技術的検討、東京オリパラ大会での無線局検査・電波監視体制の構築に向けた調整(地方総合通信局からの応援職員の派遣等)等、全く新しい業務を担当しています。

己への挑戦

我々の所属は、数年おきに国内外問わず変わる

ため、絶えず新たな刺激を受け続けることが出来ます。所属が変わる度に、その業界の著名な方々とお話しする機会に恵まれるため、物事の考え方など、勉強になることが多々あります。

総務省という職場は、自分自身の努力次第で、いかようにも成長することができる職場であることは間違いないでしょう。このチャンスをどう活かすのか、それはあなた次第です。己への挑戦を総務省で始めてみませんか。



トルコのカウンターパートとランチ

旗を掲げて進む

リーダーシップ、すなわち旗を掲げて進むということは、その旗に付いて進む全ての人に責任を持つということであり、その旗が周囲からどのように見られているのかを機微に察知しつつ、周囲の動向全体がどのように変化しているか見極め行動することではないでしょうか。

例えば、劇団の主宰者であったら。舞台の成功という旗を掲げて、出演者やスタッフを集め率っていくことになるでしょう。より素晴らしい舞台にするために会場の確保や広報活動に奔走するのも、もしくは協力者を集めるのも主宰者の仕事でしょう。その演劇に込められたメッセージによっては多くの共感を得ることができるかもしれないし、もしくは非難の対象になるかもしれない。そのような声をフィードバックするのも重要な仕事です。さて十分な集客はできるでしょうか。

これは何も演劇に限った話ではありません。大きな商談をまとめたり、ビルを建てたり、高い山に登ったり。規模の大小はあれど、プロジェクトの成功に向けて旗を掲げる際には、まず信念をもって知恵を尽くし、あらゆる人の手助けを得て、様々なハードル

を楽しんで越えていくことが重要です。もちろん行政の仕事も同じです。むしろ最たるものではないでしょうか。

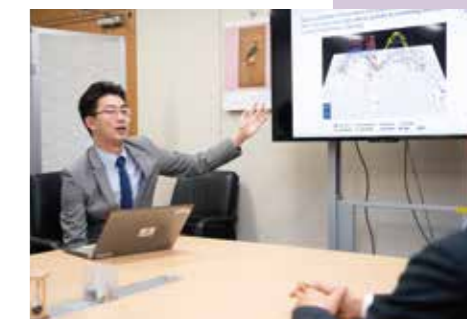
「5G」という旗

総務省に入省して以来、5Gを始めとするモバイル分野に、研究開発、標準化、実証試験、競争環境の整備、セキュリティ対策とあらゆる角度から携わってきました。「これで世の中は豊かになるだろうか」と胸に手を当てつつ、「5Gの実現に向けてこの研究開発に取り組むべき」とか「5Gではこの周波数を利用するべき」とか、様々な人と相談しつつ旗を作り進んできました。その中でも、時に予算の獲得に奔走したり、新たな協力者を獲得すべく説明に回ったりと身を粉にすることも。通信の更なる大容量化だけでなく、超低遅延、多数同時接続といった特徴を持つ5Gの登場は私たちの生活を大きく変えるのではないかと世間からの注目も大きく、掲げている旗の大きさを日々痛感しています。

そんな5Gの本格導入にあたり、特に今重要なのはセキュリティ対策です。セキュリティというのは対象となるシステムの仕組みや使われ方を理解していなければ十分な対処を行うことが困難なも

のです。まさに集大成として大きな旗が土台から崩れてしまわないよう力を注いでいます。

一緒に旗を持ちたい方、もしくは新しい旗を立て引っ張っていきたいという方は是非総務省の門戸を叩いてみてください。



直近のサイバー攻撃の状況と対策を上司に報告



休日は趣味のクラシックギターでリフレッシュ



ICTの旗

総務省サイバーセキュリティ統括官付
 参事官付主査

武田 真理 TAKEDA Masamichi

平成 26年 4月 総務省採用
 同 総合通信基盤局電波部電波政策課
 平成 27年10月 同 総合通信基盤局電波部移动通信課新世代移动通信システム推進室
 平成 29年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課移动通信係長
 令和元年 7月 現職